

▼『前向きの島づくり』という考え方

3



前向きの島づくり
Positive Island SADO

◆佐渡のコンセプト：『前向きの島づくり』
コップに半分水が入っているとき、『もう半分しかない』と嘆くよりも『まだ半分もあるじゃないか』と捉えよう！人口減少に端を発するあらゆる衰退をプラス思考で捉え、トップランナーとなることで、この県、この国を引っ張って行こう！

【①大目標】佐渡市民の佐渡市民による
佐渡市民のための地域づくり

↓そのためには
【②中目標】佐渡アイランド集落ツーリズム構想
佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とがつながっていく世界観
↓現在進行中

【③小目標】小学校区単位を原則とする
地域づくりを全島へ
松ヶ崎集落での古民家再生の宿等を中心とした
地域づくりの横展開



『前向きの島づくり』のポーズ

2019年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼④令和2年2月作成 参考資料

▼室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会 とは・・・

4



室岡ひろし プロフィール

- 昭和55年 新潟市生まれ(本籍:上横山 甚太郎)
- 平成11年 新潟高等学校卒業(第107回生)
- 平成17年 東京理科大学工学部建築学科卒業
- 平成19年 同大学院修士課程修了(建築学修士) 東京のITベンチャー企業へ就職
- 平成23年 コールセンター(HCC株式会社)へ転籍 東京にあったコールセンターを 佐渡へ本社移転、孫ターンに成功! (秋津の佐渡本社センター責任者に就任)

室岡ひろしと
佐渡の明るい未来をつくる会
〒952-0024 佐渡市上横山273
☎090-9335-9519
f 室岡ひろし

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想 の実現を目指す政治団体です。

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、
集落でかけがえのない時を過ごす
人と人とがつながっていく世界観

不定期での意見交換会『茶話会(さわかい)』を開催させていただいております。
いつも貴重なご意見・ご質問・ご提案をいただき、本当にありがとうございます！

皆さんのお困りごとやご意見が佐渡市政の改善のタネとなります。
一人でも多くの佐渡市民の方との意見交換に伺いたいと思います！
茶話会開催のご希望があれば、是非ともお声掛けください◎
平日土日、昼夜問いませんので、どうぞよろしくお願いいたします。



【連絡先】室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会
発行責任者 室岡啓史：090-9335-9519
mro1118@gmail.com
http://hiroshimurooka.com/

後援会員募集中!!!

2020年2月作成 参考資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想とは・・・

1

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、
集落でかけがえのない時を過ごす
人と人とがつながっていく世界観



【出典】集落のプロモーションビデオのたたき台(制作：スタジオマクワンカ)

2019年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼②令和2年2月作成 参考資料

▼2019年10月 民家フォーラム2019 in 佐渡、開催！

2



全国大会の佐渡開催を足掛け4年で実現させました！

【出典】特定非営利活動法人 日本民家再生協会主催 第22回「民家フォーラム2019」@金井能楽堂
2020年2月作成 参考資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

佐渡市議会議員 政風会 幹事長 室岡ひろし



一般質問

室岡 啓史 議員

佐渡市若者未来応援基金（仮称）の設立を

【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とのつながりがあっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。両津は佐渡の玄関口。1月2日、大火に見舞われた両津夷本町商店街の復興について佐渡市としてどう考えるか。

【市長】 商店街の活性化について、商工会や商店街協同組合等、地域との意見交換をこれからも継続して進めていく。両津港から入る人、出る人が地域で滞在し、楽しめるまちづくりを進めていきたいと考える。

【質問】 新穂潟上地域については、温泉、トキ交流会館、周辺地域を一体的運営とし、入浴・食事・宿泊・村歩きが体験できる『トキとの共生を目指す滞在型観光地域づくり』のエリアになると考えるがどうか。


【市長】 人とトキが共生する地域として、新穂潟上地域の活性化や利便性の向上について、それぞれの運営事業者同士が連携することで今後の一体的な運営も実現されるものと考えている。

【質問】 トキガイド、佐渡金銀山ガイド、ジオパークガイド養成講座への受講を促進し、関係人口増大へとつなげるべきと考えるが。

【市長】 ガイドの皆様は人生経験の豊かな方も多く、地域の魅力発信のみならず、コミュニケーションを通して観光客の思い出に強く残ることでありピーターや口コミ宣伝となり、関係人口の増加につながるものと考えている。現在、会員数が1万6000人の『さどまる倶楽部』を2020年度末までに5万人としたい。

【質問】 佐渡市奨学金制度と佐渡市医療技術者奨学資金貸与制度とを統合し、佐渡市若者未来応援基金（仮称）の設立をすることで奨学金の見える化を行うべきと考える。将来は佐渡に戻って働こうと勉学に励む若者のために寄附をしたい、ふるさと納税をしたいという機運を今以上に高めることができるかと考える。佐渡市子ども未来応援基金との連動による切れ目のない子育て支援が基金としても実現できると考えるが。

【市長】 ふるさと納税の中に『島の未来を拓く人づくり応援コース』を創った。新たな基金創設の提案であるが現行の奨学金制度及び医療技術者奨学資金貸与制度、それぞれの検証を行う必要があると考えている。



一般質問

室岡 啓史 議員

佐渡市もSDGs未来都市への名乗りを

【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とのつながりがあっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。持続可能な環境の島づくりについて問う。『前向きの島づくり』を念頭に置き佐渡市もSDGs未来都市への名乗りを挙げるべきと考える。SDGsは、くしくもS a d o G a s h i m a の頭文字となつているため、佐渡こそSDGsを推進すべきと考えるがどうか。

【市長】 佐渡市では、地方創生の目的である人口減少と地域経済の縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向け、SDGsの理念を、次期将来ビジョンに反映させたいと考えている。SDGs未来都市については、応募要件や既に選定された自治体の取り組み等も研究した上で判断していきたい。

【質問】 去る6月に成立した棚田地域振興法。佐渡棚田協議会の7つの棚田を離島のモデル地域として新潟県へアピールし、棚田地域振興法の活用をすべきではないかと考えるがどうか。

【市長】 8月に棚田地域の振興に関する基本的な方針が閣議決定された。佐渡棚田協議会を中心に各棚田地域での課題を洗い出し、具体的な検討を進める予定。

【質問】 地域づくりへの地域防災マップの活用について問う。今年度、地域防災マップの作成、地域説明会14回について実施が完了した状況。地域防災力を高めるためのみならず、地域について学ぶ佐渡学の機会として、果敢に課間連携しながら地域防災マップを活用すべきと考えるがどうか。

【市長】 自主防災の点において、集落など地域での共助が不可欠。地域防災マップを活用し、具体的な地域の危険箇所や避難路の確認などを地域で話し合うことで共助の意識がさらに高まるものと考えている。ジオパークと連携した児童生徒への防災教育についても、有効であると考えている。小学校でも出前授業を行うことになっており、順次学校からの申し出に対応したい。

※SDGsとは：サステナブル・デベロップメント・ゴールズの略で、世界を変革する持続可能な開発目標のこと。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意のもとで採択された世界を変革するための17の目標と169のターゲットで構成される。



一般質問

室岡 啓史 議員

『前向きの島づくり』という考え方を

【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とのつながりがあっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。最上位計画である佐渡市将来ビジョン改定の際、『前向きの島づくり』という考え方をそもそも論として明文化する必要性を感じる。佐渡市民の皆様とともに、心持ちからプラス思考に変えるという発想。カラ元気から始まる本当の元気があるのではないか。私の考えたタイトル・ロゴはいかがか。

【市長】 何事もポジティブにプラス思考で捉える姿勢は同じ思い。タイトル表現、ロゴ等について一つのアイデアをいただいたと思う。市民の皆様には何か一番わかりやすいか、一つの材料として承らせていただく。

【教育長】 プラス思考は非常に賛成するところがある。

【質問】 持続可能な環境の島づくりについて問う。去る2月、新潟県と東北電力が包括連携を締結。花角英世新潟県知事は、佐渡や粟島において洋上風力や太陽光発電で100%自給する『自然エネルギーの島構想』を掲げた。県と市との連携でプロジェクトが推進していくものと考えているがどうか。

【市長】 地域の雇用や産業の創出といった地方創生につながるものと考えている。新潟県と連携・協力して、積極的に取り組んでいきたい。

【質問】 子育てしやすい島づくりについて問う。5月に行政視察で訪れた岡山県奈義町役場に『子育て応援宣言のまち、子育てするなら奈義町で』との垂れ幕。平成26年の合計特殊出生率が2・81。子育て世帯のうち約5割が3人以上の多子世帯である。また、兵庫県明石市では、こども総合支援条例を制定。子育て施策に明石市総予算の約2割を投入している。切れ目のない子育て支援への市長の本気度はいかがか。

【市長】 安心して結婚・妊娠・出産・子育てをしてもらえる環境整備が必要。子ども若者課を設置し、子ども目線に立った施策構築やサービス提供の仕組みづくりを進めている。今年度は幼児教育・保育の無償化が実施されるが、市として給食費も含めた全面無償化を検討している。



一般質問

室岡 啓史 議員

佐渡の空き家3000棟を 燦然と輝かせよう

【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とのつながりがあっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。集落等の空き家について問う。市内の5棟に1棟が空き家。うち、活用可能な空き家は約3000棟。私は、3000棟ある佐渡の空き家を燦然と輝かせることが必要だと考える。去る10月に金井能楽堂にて日本民家再生協会が『民家フォーラム2019 in 佐渡』として開催。佐渡市は共催者としてどう総括しているのか。

【市長】 佐渡に点在する民家が地域の宝物となる可能性を大いに秘めていることが確認できた。民家を活用した成功事例を増やしたい。

【質問】 佐渡市雇用機会拡充事業補助金ついて空き家を活用する機運を醸成し、同補助金への申請を促進するべきではないか。

【市長】 平成29、30年度はそれぞれ17件、今年度は31件を採択。空き家を活用した事例は、3年間で9件。来年度に向け既に事前相談を開始しており、多くの方に応募、活用していただきたい。

【質問】 佐渡の世界遺産登録については、2020年国内推薦獲得、2022年に世界文化遺産登録されるのが最短のスケジュールであるが、市民の方とお話する中で、受け入れ体制の構築については不安の声の方が多い印象である。そこで、『ゴールドラッシュアゲイン』という考え方を市民の皆さまと共有する必要があるかと考える。江戸時代に栄華を極めた佐渡金銀山は、まさにゴールドラッシュの島。金が出たことで、ヒト・モノ・カネが佐渡に集まった。今度は、佐渡が世界文化遺産となり、もう一度佐渡の魅力が島内外へ伝えることで地域が元気になるという世界観を『ゴールドラッシュアゲイン』とキーフレーズ化すべきという提案だがどうか。

【市長】 キャッチフレーズ化については、市民との意見交換等で伺って検討したい。

三度のメシより佐渡が好き!!!

Vol.004



民家フォーラム2019in佐渡の様子